



天狗の滝

岩肌を2段になって
水しぶきを上げる秘境の飛瀑

小平町滝下地区にあるおびらしべ湖の南西側にそびえる天狗山は、断崖の岩肌をむき出しにした標高376mの小高い山。周囲の山々からひと際高くそびえる姿が天狗の鼻のように見えたことから名前が付けられたと言われています。荒々しい岩肌を見せる断崖は落差約100mもあり、急激な造山運動による隆起によって誕生したことを表しています。

この天狗山の中腹で、岩肌に沿って水しぶきを上げる飛瀑が、景勝地として知られる天狗の滝。落差30mの滝が2段になって岩壁にぶつかり、扇状に広がって滝つぼへと流れ込む独特の形状を見せています。滝が流れる岩肌は木も苔も生えないむき出しの岩盤で、この辺りがアイヌ語で「カムイハツタリ（魔神の淵）」と呼ばれていたことから秘境の名瀑であることがうかがえます。

おびらしべ湖駐車公園から天狗の滝までは約3kmの遊歩道が整備されていますが、途中には上り下りの階段や険しい小道もあり、汗をぬぐいながら天狗の滝にたどり着いたときの感動はひとしおです。天狗の滝は平成5年(1993年)に日本海百選、天狗山は昭和60年(1985年)に北海道自然百選に選定され、四季折々の自然の景観を楽しませてくれます。

見どころ

天狗の滝はおびらしべ湖畔にあるおびらしべ湖駐車公園から約3km。遊歩道を30分ほど歩くと、たどり着きます。夏場は一面緑に覆われ、鳥のさえずりと風のさわめきが心地良い自然の中で、天狗の滝の水音が豪快に鳴り響いています。

ポイント

天狗の滝の岩肌には、よく見ると小さくくり抜かれた穴があり、中に仏像が祭られています。その昔、滝に打たれて難行を繰り返した若い修行者が滝の神様として祭ったものだそうで、天狗の滝もパワースポットとして注目を集める日が来るかもしれません。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



大天狗山滝の沢を源流にし、落差30mもあろうかと思われる豪快な流れは、2段になった岩崖にぶつかり扇状に広がって壮観です。迫力のある水音にも耳を傾けてみましょう。



天狗山では四季折々の豊かな自然に触れることができ、訪れる行楽客を楽しませています。

また山頂からは、天気の良い日は日本海や暑寒別岳を望むこともできます。

■ 基本情報 (R7.3)

問い合わせ：小平町経済課商工水産係/TEL0164-56-2111